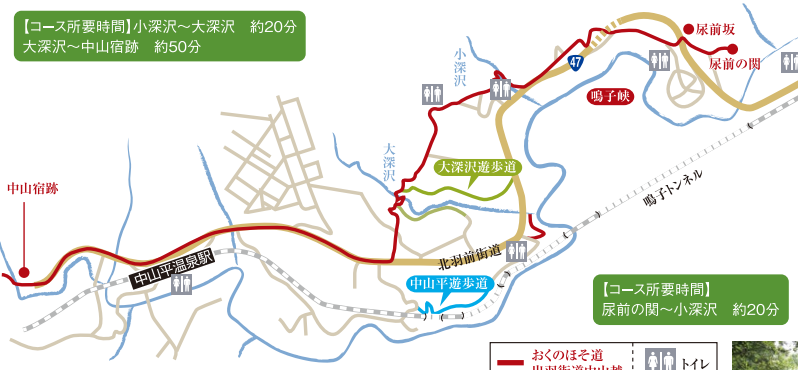




源義経が平泉へ赴く逃亡の途中に通ったのが大崎市鳴子温泉、という伝説が残るなど、岩手県平泉は大崎市と歴史的にゆかりのある街。鳴子温泉から平泉までは、車で約1時間半。歴史に思いを馳せながらのドライブを楽しめる。

大崎から悠久の地へ
世界文化遺産 平泉

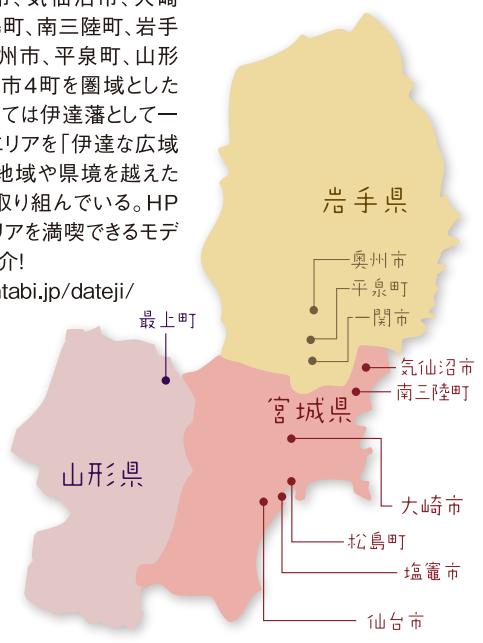


日本を代表する紀行文学「おくのほそ道」を記した松尾芭蕉。芭蕉が通過に苦労した尿前の関から、最大の難所・中山峠を歩き、中山宿跡まで。さらに隣の山形県まで進めば芭蕉たちが雨のため3日間足止めされた「封人の家」が現れる。歩きやすく整備されているところもあるので、新緑や紅葉の季節に芭蕉が辿った道をウォーキングしてみよう。



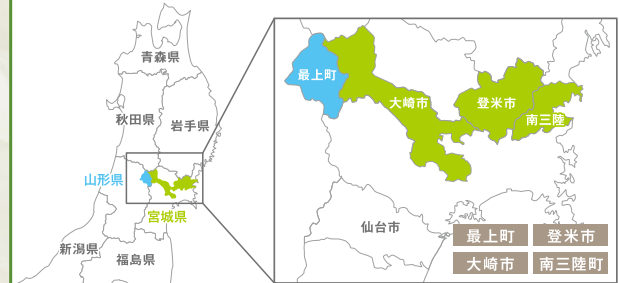
芭蕉の歩いた道を辿る
おくのほそ道

宮城県仙台市、気仙沼市、大崎市、塩竈市、松島町、南三陸町、岩手県の一関市、奥州市、平泉町、山形県の最上町の6市4町を圏域とした観光エリア。かつては伊達藩として一体であったこのエリアを「伊達な広域観光圏」として、地域や県境を越えた観光地づくりに取り組んでいる。HPではこの観光エリアを満喫できるモデルコースなども紹介!
<http://www.sentabi.jp/dateji/>



地域を越えた観光地づくりを！
伊達な広域観光圏

観光資源が豊かで、昔から地域同士の交流が盛んだった山形県最上町、宮城県大崎市、登米市、南三陸町エリアで進められているのが「東北のセンターライン・未来プロジェクト」。歴史・自然・産業・人・交流など様々な宝を発掘し、地域全体の魅力を高めることで、観光客の満足度向上につとめている。



海・山・里の宝をつなぐ
東北のセンターライン・未来プロジェクト

主な取り組み	宝を掘り起こす 4つのまちに埋もれる観光資源=宝をモニター調査やアンケート調査により掘り起こす。	+	宝を磨く 地域の宝の検証や比較を行い、新しい組み合わせによる宝の発見や、特産品のコラボレーション化を進める。	+	宝をつなぐ活かす 体験型のモニターツアーを企画して旅行商品を開発したり、プロジェクトの取り組みの情報発信を行う。
--------	---	---	---	---	---



大崎からはじめる旅のスズメ

近隣エリアまで少し足をのびしてみたり、歴史的にゆかりのある地を訪ねてみたり。魅力たっぷりの大崎からはじめる旅に、便利な情報をピックアップ!